



特定非営利活動法人

## 日本ボランティアコーディネーター協会 2010年度 事業報告

事業計画では、2010 年を“将来を見据えた方向付けと基盤強化の年”と位置づけ、JVCA ミッションを達成に向けてのさまざまな取り組みを行ってきた。はじめに4つの柱に沿って主な重点的なトピックを紹介し、次ページ以降は各事業の執行状況と実績を報告する。

### ▼重点1

#### 多様な領域で活動する

##### ボランティアコーディネーターの ネットワークを確立する

- 文化庁の委託を受け、「文化ボランティアコーディネーター養成講座」の研修プログラムの開発とセミナーを開催した。全国から80人弱、関係者も入れれば100人規模が岐阜県の可児市文化創造センターに集まり、協議と交流を行った。
- ボランティアコーディネーション力2級ならびに3級合格者への入会呼びかけを積極的に行った。2010年度の新入会員は64人。昨年並みの数ではあるが、3級検定を開始して以降、入会者数はやや上向いている。

### ▼重点2

#### ボランティアコーディネーターの 専門性向上をめざす

- ボランティアコーディネーション力2級検定を開始。東京と大阪で直前研修と検定試験を実施した。受験者は92人。グループワークを取り入れた研修のため定員を超えての受け入れができず開催回数の増が課題になった。
- 専門職化にむけては欠かせない「ボランティアコーディネーター倫理綱領」の素案を作成し、会員に意見を求めるため送付した。
- ボランティアコーディネーション力1級検定と認定システム構築に向けての研究協議に着手した。

### ▼重点3

#### ボランティアコーディネーターの 専門職としての社会的な認知度を高める

- 認定ボランティアコーディネーターシステムの導入については「検定・認定システム化検討委員会」(筒井のり子委員長)において協議している。専門職としての認定をするこのシステムの設計にあたっては、単発の研修だけではなく、時間をかけての少人数学習と評価のしくみを検討してきた。本格的なシステム設定は2011年度に取り組む。

### ▼重点4

#### ボランティアコーディネーションの 意義とはたらきを広く普及する

- 2009年度に開始したボランティアコーディネーション3級検定の合格者は677人にのぼった。受験者は、ボランティアコーディネーターはもちろん、地域活動の活動者やグループリーダー、行政職員など多岐にわたり、徐々に広がってきた。
- 「ボランティアコーディネーター基本指針」については主催研修および講師派遣研修などで欠かさず配付した。

### ◆推進体制:事業を推進する体制を充実する

- 2011年～2013年までのJVCAの方向性を定める「第2期中期ビジョン」の策定に取り組んだ。
- 検定の直前研修を担う講師、および研修講師派遣で赴く人材の育成を行った。
- 4月から非常勤スタッフを常勤化し、年末よりJVCC事務局のためのアルバイトも補充した。

## ■ 1 事業の推進

### (1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

#### ①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2010」(福岡開催)の開催及び評価

2004年度から「基礎・入門編」<研究・実践編>の2本立てで開催してきたが、2009年度からは基礎・入門編を切り離し、実践経験の積み上げのあるボランティアコーディネーターを対象とした研究協議の場に再編した。参加者は募集定員を超える242人、会員の参加は28%だった。

テーマ: 「めんたい! コーディネーション つむごう、よか社会の絆」

期 日: 2010年3月6日～3月7日(土～日)

場 所: 福岡市市民福祉プラザ (ふくふくプラザ)

共 催: 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会

参加者: 192人

分科会数: 24分科会

実行委員数: 46人

運営ボランティア: 16人(2日間延べ20人)

協力講師・事例報告者等 44人(一部実行委員と重複)

↓オープニング



↓クロージング



分科会→



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第8回	1月17日(日)	福岡市市民福祉プラザ	28人
第9回	1月31日(日)	福岡市市民福祉プラザ	27人
第10回	2月14日(日)	福岡市市民福祉プラザ	21人
第11回	2月21日(日)	福岡市市民福祉プラザ	30人
第12回	2月27日(土)	福岡市市民福祉プラザ	35人
反省会	3月20日(土)	福岡市市民福祉プラザ	11人

#### ②「全国ボランティアコーディネーター研究集会2011」(京都開催)の準備

- ・龍谷大学との共催により、2011年2月26～27日(土・日)、龍谷大学深草キャンパスを会場に、全国ボランティアコーディネーター研究集会2011を開催する。現地の事務局として関西の理事・運営委員の有志でチームを編成し、実行委員会を立ち上げて始動した。実行委員は総勢

49人、月1回のペースで実行委員会を開催し、JVCC2011の基本コンセプトから具体的な企画まで検討を行った。12月上旬には開催要項と専用ブログが完成し、関係機関・団体、個人への広報を開始した。



#### 実行委員会開催状況

回	期日	会場	参加人数
準備会	5月8日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	6人
第1回	6月19日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	28人
第2回	7月5日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	34人
第3回	8月8日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	34人
第4回	9月20日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	35人
第5回	10月11日(祝・月)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	23人
第6回	10月23日(土)	龍谷大学深草キャンパス	29人
第7回	11月13日(土)	龍谷大学大宮キャンパス	26人
第8回	12月11日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	29人

## (2) 研修の開催および研修企画の支援

### ① ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修の開催

計画：主催2回(東京2回、大阪2回、北九州、仙台)、共催3回(広島2回・八尾)

⇒(3)検定の欄で報告

### ② ボランティアコーディネーション力2級検定直前研修の開催

計画：主催2回(東京・大阪) ⇒(3)検定の欄で報告

### ③ 各種研修セミナーの開催

・実務者向け:ボランティアコーディネーター基礎研修 4回

(関東 2回、関西 1回、その他の地域 1回)

タイトル	期日・会場	講師	参加者
第35期ボランティアコーディネーター養成講座 ワカル! デキル! ツナガル! ボランティアコーディネーション <共催:大阪ボランティア協会>	6月4日(金) 大阪NPOプラザ (大阪)	石井祐理子 南 多恵子 白井 恭子	43人
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月15日(火) 東京文化会館 (東京)	疋田 恵子 後藤麻理子 小原 宗一	45人

タイトル	期日・会場	講師	参加者
福祉施設・病院のための ボランティアマネジメント研修(基礎編) <共催:練馬ボランティア・市民活動センター>	7月12日(月) 練馬ボランティア・ 市民活動センター 会議室 (東京)	後藤麻理子 樋口 実	26人

・実務者向け: ボランティアコーディネーター・ステップアップ研修 1回(東京)

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター・ステップアップ研修2010 「コーディネーターの視点で 相談対応の質は変わる！」 <協力:> 特定非営利活動法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)	12月18日(土) 環境パートナーシップオフィス (EPO) (東京)	小原 宗一 池田 誠	17人

・ボランティアと向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座 3回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	8月9日(月) 大阪NPOプラザ(大阪)	加留部貴行	19人
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	9月23日(木・祝) COMB i 本陣(名古屋)	加留部貴行	16人
ボランティア向き合うことの多いあなたのためのファシリテーション講座	10月28日(金) 北とびあ(東京)	加留部貴行	20人

③講座等の企画支援と講師等の派遣・紹介

・ボランティアコーディネーターの専門性の向上、およびボランティアコーディネーションの普及に関わる研修に講師を派遣した。(P22:別表参照)

⇒講師派遣実績 90件 / 研修日数 113日 / 派遣講師人数 17人

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力3級検定試験の実施

5回(主催2回/共催3回)

<第1回検定の実施> (通算第6回)

開催地・会場	期日	講師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	5月15日(土)	長 沼 豊 唐木理恵子	64人
大阪会場 大阪NPOプラザ <共催: 大阪ボランティア協会>	・直前研修 10:00~16:30 ・検定試験 17:00~18:00	早瀬 昇 栗木 梨衣	45人
福岡会場 ウェルとばた <後援: 北九州市社会福祉協議会> <協力: 北九州市障害福祉ボランティア協会>		加留部貴行 後藤麻理子	32人

＜第2回検定の実施＞（通算第7回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 東京ボランティア・市民活動センター	5月15日(土)  ・直前研修 10:00～16:30  ・検定試験 17:00～18:00	唐木理恵子 平野 幸子	72人
大阪会場 大阪NPOプラザ ＜共催：大阪ボランティア協会＞		赤澤 清孝 垂井加寿恵	80人
宮城会場 宮城県自治労会館 ＜協力：宮城県社会福祉協議会／仙台市社会福祉協議会／せんだい・みやぎNPOセンター／杜の伝言板ゆるる／東北福祉大学＞		小原 宗一 後藤麻理子	30人

＜3級検定(主催) 試験結果＞

	第1回	第2回	合計
受験者数	141人	182人	323人
合格者数	121人	150人	271人
合格率	85.8%	82.4%	83.9%
平均点	82.4点	78.9点	80.4点

＜共催検定の実施＞

共催団体・共催事業名	期日	講 師	受験者
広島県社会福祉協議会 「ボランティア活動と住民参加型福祉活動のためのコーディネーション力向上講座」	1月28日(木) 1月29日(金)	妻鹿ふみ子	26人
八尾市文化振興事業団 「文化ボランティアコーディネーター養成講座」	4月17日(土) 4月24日(土)	筒井のり子	41人
広島県社会福祉協議会 「ボランティア活動と住民参加型福祉活動のためのコーディネーション力向上講座」	10月18日(月) 10月19日(火)	妻鹿ふみ子	30人

②ボランティアコーディネーション力2級検定試験の実施

開催地・会場	期日	講 師	受験者
＜第1回＞東京会場 北とびあ	8月21日(土) 直前研修 10:00～16:40 8月22日(日) 直前研修 9:30～14:40 検定試験 15:00～16:40	小原 宗一 妻鹿ふみ子 後藤麻理子 筒井のり子	46人
＜第2回＞大阪会場 大阪NPOプラザ	9月4日(土) 直前研修 10:00～16:40 9月5日(日) 直前研修 9:30～14:40 検定試験 15:00～16:40	筒井のり子 早瀬 昇 後藤麻理子	46人

<2級検定 試験結果>

	第1回	第2回	合計
受験者数	46人	46人	92人
合格者数	44人	44人	88人
合格率	95.7%	95.7%	95.7%
平均点	83.7点	84.9点	84.3点



▲2級検定の直前研修風景

③ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の設置

ボランティアコーディネーション力検定の実施に向けて試験委員会を設置した。  
さらに各級(2級・3級)ごとに担当チームを設置し、それぞれの委員会業務を担った。

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 委員名簿

◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担 当
◎1	長 沼 豊	学習院大学	3級
○2	筒井のり子	龍谷大学	2級
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会	2級
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	2級
5	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター	2級
☆6	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	2級
7	赤澤 清孝	ユースビジョン	3級
8	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター	3級
☆9	加留部貴行	九州大学	3級
10	平野 幸子	明治学院大学社会学部附属研究所	3級

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会

《3級検定チーム》

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	4月25日(日)	JVCA事務所	5人
第2回	7月11日(日)	JVCA事務所	3人
第3回	11月7日(日)	JVCA事務所	3人

《2級検定チーム》

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	6月28日(月)	JVCA事務所	3人
第2回	7月18日(日)	ワールドシティタワーズ	3人
第3回	8月1日(日)	喫茶室ルノアール(神田)	5人

④『ボランティアコーディネーション力2級検定サブテキスト』の編集

2級検定試験(直前研修)に使用するボランティアコーディネーション力2級検定サブテキストの執筆を関係者に依頼し、編集した。

⑤ボランティアコーディネーション力3級検定の講師養成

3級検定の講師養成のため東京と京都においてミーティングを開催し、前年度の講師陣からのレクチャーと申し合わせをおこなった。

※養成対象は以下のとおり

小原宗一、唐木理恵子、後藤麻理子、平野幸子、加留部貴行、赤澤清孝、海士美雪、栗木梨衣、竹田純子、垂井加寿恵

開催地	期 日	会 場	参加人数
東京会場	4月29日(木・祝)	ワールドシティタワーズ	6人
京都会場	4月30日(金)	京都キャンパスプラザ	8人

⑥ボランティアコーディネーション力2級検定のトライアル研修の実施

2級検定の直前研修の開発に向けて、運営委員を対象に研修プログラム案をたたき台にした意見交換を行った。

期 日	会 場	参加人数
2月13日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	16人

⑦検定・認定システム実行プラン 推進チームの設置

・検定・認定システム実行プラン推進チームメンバー

委員名	主要タスク
竹田 純子	検定実施にかかわるロジスティクス設計
加留部貴行	検定直前研修講師養成
早瀬 昇	検定収支シミュレーション

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① メールマガジン(会員向け)の発行(月1回) 第56号～第67号の配信

② JVCAリーフレットの改訂

③ ホームページの充実

トップページにボランティアコーディネーション力検定のPRを掲載。検定の趣旨や合格者の声などを掲載した。

④ ボランティアコーディネーションに関する情報収集

⑤ 雑誌・新聞などへの寄稿 など

・『ボランティア情報』(全国社会福祉協議会 全国ボランティア活動振興センター)

コーナー名：ボランティアコーディネーション 執筆：後藤麻理子

2010.1 第10回「ボランティア活動者が高齢化している?! その1」

2010.2 第11回「ボランティア活動者が高齢化している?! その2」

2010.3 第12回「夢と信念をもったボランティアコーディネーションを！」

・『市民活動総合情報誌 Volo 2010.3』

《コーディネートの現場から・現場は語る》

地域のボランティアセンターが無くなる? 「ボランティア元年」から15年を振り返って 執筆：小原宗一

- ・『ふれあいネットワークきたきゅうしゅう市社協 No. 76』(平成 22 年 8 月 1 日号)  
「よりよい社会の創造に向って=人の力の可能性を信じる<ボランティアコーディネーション>とは?～」取材対応:加留部貴行
- ・月刊『金融ジャーナル』2010. 11 「注目ソーシャルビジネス:市民の社会参加を支えるプロを目指す 2009 年から検定制度も導入」取材対応:妻鹿ふみ子

## (5) 広報紙および出版物の発行

### ①ニュースレターの発行

『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:4月、8月、12月)

- 6月5日 第29号 特集:全国ボランティアコーディネーション研究集会福岡  
～点から線へ、線から面へ。～ 600部
- 8月30日 第30号 特集:多彩な活動を展開する文化ボランティア  
～コーディネーターの存在がさらなる活性化の鍵～ 500部
- 12月25日 第31号 特集:企業と地域をつなぐコーディネーション  
～豊富な資源をニーズにつなぐ～ 1,000部

『Co★Co★Net』は会員向けの広報紙として編集・発行しているが、第29号は第1回の3級検定合格者に、第30号は第1・2回の2級検定合格者に、第31号は第2回3級検定合格者に合格通知・合格証とともに送付した。

### ②ボランティアコーディネーション力2級サブテキストの編集・発行

- ・加除式『ボランティアコーディネーション力2級検定サブテキスト』の発行  
8月1日付で標記のテキストを発行した。  
B5判 2穴リングファイル式 142 ページ(ワークシート別配付)

### ・JVCAブックレット③『ボランティアマネジメントの実務』(仮称)

⇒JVCAブックレット③の発行計画を中止し、サブテキストに統合した。

## (6) 調査・研究活動の推進

### ①検定・認定システムの検討

「ボランティアコーディネーション力検定」(2級・1級)ならびに認定システムの検討のために、「検定・認定システム化検討委員会」を開催した。

・検定・認定システム化検討委員会 委員名簿

○委員長

No	委員名	所 属
○1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学
3	杉澤 経子	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
4	唐木理恵子	練馬ボランティア・市民活動センター
5	小原 宗一	北区社会福祉協議会
6	早瀬 昇	大阪ボランティア協会
7	竹田 純子	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
8	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会



・検定・認定システム化検討委員会の開催

※参加人数はオブザーバーを含む

回	期 日	会 場	参加人数
第 18 回	1 月 10 日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	7 人
第 19 回	2 月 14 日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	5 人
第 20 回	2 月 28 日(日)	ワールドシティタワーズ	6 人
第 21 回	3 月 5 日(日)	福岡市市民福祉プラザ	7 人
第 22 回	3 月 28 日(日)	喫茶室ルノアール大久保店	7 人
第 23 回	4 月 29 日(木・祝)	ワールドシティタワーズ	8 人
第 24 回	6 月 6 日(日)	カフェ・ミヤマ渋谷東口駅前店	8 人
第 25 回	6 月 24 日(木)	大阪NPOプラザ	5 人
第 26 回	9 月 16 日(木)	喫茶室ルノアール(四ツ谷)	7 人
第 27 回	10 月 31 日(日)	ワールドシティタワーズ	6 人

・2級検定サブテキスト改訂のための拡大ミーティング

2 級検定に合格した運営委員から『ボランティアコーディネーション力2級検定サブテキスト』の内容ならびに直前研修についての意見をきいた。

期 日	会 場	参加人数
10 月 17 日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	8 人

②「文化ボランティアコーディネーター活性化委員会」の設置・運営

平成 21 年度文化ボランティア支援拠点形成事業[文化庁委託事業]の申請が採択され、昨年より標記委員会を設置し、文化ボランティアコーディネーターの養成プログラムを開発した。これをもとに下記の養成講座を開催した。

・文化ボランティアコーディネーター活性化委員会委員名簿

No	委員名	所 属
1	柴田 英紀	鳥取県文化振興財団
2	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学
3	澤野 親司	特定非営利活動法人alaクルーズ
4	青山 織人	SFK松本ボランティア協会
5	東谷千恵子	世田谷美術館
事務局	佐藤 成臣	アカデミー文京学習推進委員会
事務局	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・文化ボランティアコーディネーター活性化委員会の開催

回	期 日	会 場	参加人数
第 5 回	1 月 6 日(水)	世田谷美術館	5 人
第 6 回	2 月 9 日(火)	文京区役所会議室	5 人

・「文化ボランティアコーディネーター養成講座 in 可児」の開催

期 日	会 場	参加人数
1月23・24日(土・日)	可児市文化創造センター(岐阜県)	78人
テーマ CONNECT “ARTS & PEOPLE” アートを奏でる！ みんなを紡ぐ！ 内 容 1日目 基調講義「市民社会とコーディネーション」 パネルディスカッション「文化ボランティアコーディネーターの最前線～現状と課題」 講義「文化ボランティアコーディネーションとアートマネジメント」 2日目 分科会 (A 美術館・博物館 B フェスティバル C 生涯学習 D アートNPO E ホール運営) まとめ～総括		

③都立高校教育サポーター養成事業への協力

平成 21 年度東京都教育委員会が主催する「都立高校教育サポーター養成事業」を共催する国立大学法人東京学芸大学と特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所からの協力依頼を受け、標記の研修プログラムの開発にあたり、研修を実施した。

・都立高校教育サポーター養成プログラム開発委員会委員名簿

No	委員名	所 属
1	長 沼 豊	学習院大学
2	廣瀬 隆人	宇都宮大学
3	池田 幸也	常磐大学
4	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会
5	小林 郁義	市民活動センターたちかわ
6	小山 陽子	川崎市社会福祉協議会
7	長谷部 治	神戸市長田区社会福祉協議会
事務局	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

・都立高校教育サポーター養成プログラム開発委員会の開催

回	期 日	会 場	参加人数
第 2 回	3月11日(木)	中野サンプラザ	3人

・都立高校教育サポーター養成事業運営委員会（主催：東京都教育庁）への参加

回	期 日	会 場	参加者・人数
第 2 回	1月19日(火)	東京都庁第二本庁舎	東京都 6人 大学関係 5人 協力団体 6人
第 3 回	3月26日(金)	東京都庁第二本庁舎	東京都 8人 大学関係 5人 協力団体 6人

・都立高校教育サポーター養成講座「高校生と福祉をつなぐコーディネーション」の開催

回	期 日	会 場	参加者
第1回	2月9日(火)	中野サンプラザ	27人
○高校生と福祉をつなぐコーディネーションとは 講師：池田 幸也、神谷 画歩 ○コーディネーターの重要性／ニーズ把握とコーディネーションの実際 講師：疋田 恵子、小林 郁義、小山 陽子			
第2回	2月17日(水)	中野サンプラザ	23人
○多様な学びを支援するツールボックス (ワークショップ、ファシリテーション、リフレクション) 講師：廣瀬 隆人			
第3回	2月23日(火)	中野サンプラザ	24人
○高校生に福祉を伝える ～マインド&スキル～ 講師：長 沼 豊 ○参加体験型学習のプログラムづくり 講師：長谷部 治			

④ボランティアコーディネーター倫理綱領の作成

ボランティアコーディネーターの専門職としての自覚と遵守すべき倫理を表すために、ボランティアコーディネーター倫理綱領を起草に着手した。昨年度「倫理綱領作成チーム」がまとめたたたき台をもとに会員からの意見収集を行った。

⑤『ボランティアコーディネーター白書 2010-2012』の編集

大阪ボランティア協会発行『ボランティアコーディネーター白書 2010-2012』の編集を行った。

○特集テーマ：日本のボランティアセンター・市民活動センターは、今後どうなるのか？(仮)

- 編集委員会 赤澤 清孝 (ユースビジョン代表)
- 河村 暁子 (東京ボランティア・市民活動センター 主任)
- 田中 利昌 (刈谷市民ボランティア活動支援センター 職員)
- 筒井のり子 (龍谷大学社会学部 教授)
- 後藤麻理子 (日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長)
- 早瀬 昇 (大阪ボランティア協会 常務理事) 【委員長】

(7) 相談への対応 (電話・Eメール・FAX・来所・文書)

7.23 現在

内 容	件数	内 容	件数
ボランティアコーディネーションに関すること	15	入会希望・問合せ	3
ボランティア活動に関すること	10	会員種別変更・退会	61
研修講師相談・依頼・手続き・調整	332	会費納入	34
主催研修の日程／内容	98	事業協力・後援依頼	16
JVCCに関すること	116	関係(者)団体連絡先照会	4
図書購入・照会	42	VCO検定	363
取 材	8	その他	33
合 計			1,135

## (8) ネットワーク推進事業

### ①CoCoサロンの開催・運営支援

- ・各地のCoCoサロンの活動状況を把握するために、「CoCoサロン調査」を実施し、『CoCoサロンガイドブック』を更新、3月の研究集会におけるランチミーティングで活用した。
- ・ボランティアコーディネーターをつなぐ「CoCoサロンランチミーティング」の開催  
全国ボランティアコーディネーター研究集会2010の昼食休憩を活用して、会員ならびに集会参加者との交流会を実施した。

期 日	会 場	参加人数
3月7日(日)	福岡市市民福祉プラザ	33人

### ・CoCoサロンの開催状況

#### <開催状況一覧>

日 程	地域/分野	会 場	参加	主な内容
3月14日 (日)	北九州 Link 福祉施設	北九州市立小倉南障害者地域活動センター	38人	ボランティアの理念やボランティア受入れの意義などについて学び、意見交換と交流を行った。JVCAからは後藤麻理子をゲストスピーカーとして招いた。
3月14日 (日)	庄内 (山形)	鶴岡市農村センター	7人	「ボランティアコーディネーター基本指針」の読み合せ、グループワークとフリートークを行った。
5月14日 (金)	とちぎ	とちぎボランティア・NPOセンター	7人	ボランティアコーディネーション現場での葛藤や課題の共有と意見交換。検定試験合格者をいかに現場につなげ、その力を活かせるかを話し合った。
5月15日 (土)	福祉施設& 病院 in 関東	訪問の家「集」 (神奈川県)	7人	集のボランティアコーディネーターのアドバイザーから『現状報告』を伺いながら意見交換を行った。
6月22日 (火)	北九州 Link 福祉施設	春ヶ丘学園(障害福祉サービス多機能型事業所)	26人	ボランティア観を語るというグループワークを取り入れながら、参加者のボランティア受入れの実際や悩みを交換した。
6月25日 (金)	学校教育	アカデミー茗台 (東京都文京区)	16人	コーディネーションが「よかった」「成功した」と思える状態はどんな時？をテーマにセルフ&ワークを行い、自己評価ツール作りの手前までの話し合いを行った。
7月3日 (日)	庄内 (山形)	鶴岡市農村センター	7人	筒井のり子と後藤麻理子をゲストスピーカーに迎えて、ボランティアコーディネーター基本指針を読み進めながら、さまざまな意見交換を行った。

11月13日 (土)	北九州 Link 福祉施設	北九州市小倉南生涯 学習センター	15人	「どのようなコーディネーターを目指すのか？」をテーマに3人の違うタイプの施設の職員からの事例報告をききながら、質疑と意見交換を行った。
12月3日 (金)	学校教育	東京ボランティア・市民活動センター	11人	ゲスト小林郁義からの実践報告をふまえてグループワークを行い、学校ボランティアコーディネーターへの私のビジョン2011を作成し、発表した。
12月22日 (水)	とちぎ	とちぎボランティアネットワーク	22人	現場から考えるボランティアコーディネーターの役割とココサロンとちぎの担うべき役割についての意見交換をした。

## ②CoCoアカデミーの開催

開催の条件などの見直しを行い、開催要項などの改訂を行った。

## ③会員メーリングリストの運営

- ・会員相互の情報交換、意見交換のツールとしてメーリングリストが活用された。429件
- ・事務局から会員への情報提供に活用した。

## ④国内外の関係団体との連携

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
- ・他団体が実施(主催)する委員会等への協力、参加(委員委嘱)
  - i) 特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク:文化ボランティアコーディネーター講座プログラム開発検討委員会
  - ii) 東京都社会福祉協議会:地域福祉コーディネートのあり方検討委員会(地域福祉部)
  - iii) 神奈川県:協働の推進に関する調査研究会(NPO 協働推進課)
  - iv) 東京都中央区:中央区協働推進会議(地域振興課協働推進担当)
  - v) 東京ボランティア・市民活動センター:市民社会をつくるボランティアフォーラム2011実行委員会

## (9) アドボカシー活動の展開

### ①ボランティアコーディネーションの普及啓発

「ボランティアコーディネーター基本指針」ブックレットの販売促進及び主催研修や講師派遣先での普及啓発を行った。また、ボランティアコーディネーション力3級および2級の直前研修においても基本指針の項目を取り上げ、ボランティアコーディネーターに必要な視点として位置付けた。

### ②「基本指針を読む会」の開催促進

『ボランティアコーディネーター基本指針』活用マニュアル」を活用し、各地域、各職場などにおいて、ボランティアコーディネーターや関係スタッフ相互の意見交換の場＝基本指針を使った集いや研修の開催を促進するよう計画したが、具体的な働きかけや実施には至らなかった。

③ポスターキャラバンの継続

ボランティアコーディネーターの社会的な認知を高めるためのポスターを会員に配布した。またポスターを職場に掲示した写真を付けて報告をもらい、全国地図にマッピングしている。(JVCA Webサイトで閲覧可) ⇒報告 27 件



④社会情勢に応じたアドボカシー活動を展開する。

介護支援ボランティア制度の実施の動向と課題を把握するための情報収集をはかった。

## ■ 2 組織運営と財政強化

### (1) 通常総会

日 時	2010年3月7日(日曜日) 15時45分～17時40分
会 場	福岡市市民福祉プラザ 1階ホール
正会員数	318人
定 足 数	159人
出席者数	204人(議場52人/書面表決101人、委任51人)
審議事項	第1号議案 2009年度事業報告案ならびに決算案について 第2号議案 2010年度事業計画案ならびに予算案について 第3号議案 役員の改選について

### (2) 理事会

#### 第6期 役員名簿(2010.4～2012.3)

##### ○理事 15人

NO	氏 名	所 属	地 域	備 考
1	赤澤 清孝	ユースビジョン	京都府	新任
2	海士 美雪	あしやNPOセンター	兵庫県	重任
3	加留部貴行	九州大学	福岡県	新任
4	川瀬 和一	藤沢養護老人ホーム	神奈川県	重任
5	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	愛知県	重任
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	東京都	新任
7	坂口 和隆	日本NPOセンター	東京都	重任
8	柴田 英紀	鳥取県文化振興財団	鳥取県	重任
9	須藤美智子	地球環境パートナーシッププラザ	東京都	重任
10	筒井のり子	龍谷大学	滋賀県	新任
11	長谷部 治	神戸市長田区社会福祉協議会	兵庫県	重任
12	早瀬 昇	大阪ボランティア協会	大阪府	重任
13	疋田 恵子	杉並ボランティア・地域福祉推進センター	東京都	重任
14	廣瀬 隆人	宇都宮大学	栃木県	重任
15	妻鹿ふみ子	京都光華女子大学	京都府	重任

##### ○監事 2人

NO	氏 名	所 属	地 域	備 考
1	早坂 毅	税理士・NPOコンサルタント	神奈川県	重任
2	石川 到覚	大正大学	東京都	重任

## 理事会の開催

計画通り4回開催した。

回	日程	会場	出席	審議事項
第30回	2月20日 (土)	東京ボランティア・ 市民活動センター	14人	第1号議案 2009年度事業報告・決算案 について 第2号議案 2010年度事業計画・補正予 算案について 第3号議案 役員の改選について 第4号議案 2010年度運営委員ならびに各 種委員の募集と運営委員選考 委員の選任について
第31回	4月8日 (木)	大阪NPOプラザ	15人	第1号議案 正副代表理事の互選について 代表理事 妻鹿ふみ子 副代表理事 早瀬 昇 " 須藤美智子 第2号議案 理事の担当業務について
第32回	8月1日 (日)	日本NPOセンター	14人	第1号議案 上半期事業執行状況報告なら びに今後の推進について
第33回	12月26日 (日)	龍谷大学大阪梅田 キャンパス	15人	第1号議案 2011年度事業計画・暫定予 算案について

### (3) 委員会

#### ①運営委員会

i) 2010年度運営委員の任命(任期:2010.4~2011.3)

2010年度の運営委員公募に33人が応募され、運営委員選考委員会(理事会からの委嘱)における審査を経て、全員を代表理事が任命した。

さらに4月の運営委員会において、運営委員長に加留部貴行、副運営委員長に唐木理恵子、長谷部治を互選した。

・2010年度運営委員選考委員会 3月27日(土) 於:JVCA事務所  
選考委員 4人 運営委員を兼ねない理事2人 妻鹿ふみ子・須藤美智子  
運営委員長 加留部貴行 事務局長 後藤麻理子

#### ○運営委員 33人

NO	氏名	地域	所属
1	岩浪 武司	山形	鶴岡市第四学区社会福祉協議会
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	岩井 俊宗	栃木	宇都宮市民活動サポートセンター
4	足立 陽子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会



5	上田 英司	東京	特定非営利活動法人NICE
6	小原 宗一	東京	北区社会福祉協議会
7	唐木理恵子	東京	練馬ボランティア・市民活動センター
8	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
9	後藤麻理子	東京	日本ボランティアコーディネーター協会
10	小林 郁義	東京	立川市社会福祉協議会市民活動センターたちかわ
11	佐藤 成臣	東京	アカデミア文京学習推進委員会
12	鈴木 裕子	東京	会社員
13	高木 寛之	東京	大妻女子大学
14	疋田 恵子	東京	杉並ボランティア・地域福祉推進センター
15	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
16	小山 陽子	神奈川	川崎市宮前区社会福祉協議会
17	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
18	坂口 平	長野	上田悠生寮
19	鈴木 盈宏	愛知	トヨタグループボランティア連絡会
20	山方 元	愛知	愛知県立豊橋工業高等学校
21	渡邊 文人	愛知	愛・地球博ボランティアセンター
22	竹田 純子	京都	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
23	西村こころ	京都	京都福祉サービス協会
24	福本 滋	京都	京都ボランティア協会
25	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
26	白井 恭子	大阪	大阪ボランティア協会
27	早瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会
28	垂井加寿恵	兵庫	神戸市中央区社会福祉協議会
29	橋口 文博	兵庫	じゅうしん神戸
30	長谷部 治	兵庫	神戸市長田区社会福祉協議会
31	松若 玲奈	兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
32	加留部貴行	福岡	九州大学（西部ガスから出向）
33	高口 貴子	福岡	原土井病院

ii) 運営委員会の開催

計画通り、運営委員会を開催した。

回	日程	会場	出席
第1回	1月10日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	28人
第2回	2月14日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	19人
第3回	3月21日(日)	岸町ふれあい館(東京)	19人
第4回	4月4日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	17人

第5回	5月9日(日)	岸町ふれあい館(東京)	24人
第6回	6月19日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘	18人
第7回	7月18日(日)	マホロバ・マインズ三浦	23人
第8回	8月8日(日)	キャンパスプラザ京都	19人
第9回	9月12日(日)	女性と仕事の未来館(東京)	21人
第10回	10月17日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	15人
第11回	11月21日(日)	COMBi本陣(名古屋)	16人
第12回	12月11日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	15人

## ②各種委員会の運営

i) 広報普及委員会…会員新規拡大、ホームページ充実、ボランティアコーディネーター基本指針の普及など、JVCAのPR活動全般

回	日程	会場
第1回	1月10日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	2月14日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘
第3回	3月21日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第4回	4月4日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘
第5回	5月9日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第6回	6月19日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘
第7回	7月18日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第8回	8月8日(日)	キャンパスプラザ京都
第9回	9月12日(日)	女性と仕事の未来館(東京)
第10回	10月17日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
準備会	11月16日(火)	あんさんぶる荻窪(東京)
第11回	11月21日(日)	COMBi 本陣(名古屋)
第12回	12月11日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス

ii) 会員サービス委員会…会員継続支援、CoCoサロン開催支援、Co★Co★Net編集など、団体内部に向けた広報・支援

回	日程	会場
第1回	1月10日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	2月14日(日)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘
第3回	3月21日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第4回	5月9日(日)	岸町ふれあい館(東京)
第5回	6月19日(土)	龍谷大学セミナーハウスともいき荘
第6回	7月17日(土)	マホロバ・マインズ三浦
第7回	8月8日(日)	キャンパスプラザ京都
第8回	9月12日(日)	喫茶室ルノアール(東京・三田)
第9回	11月21日(日)	COMBi 本陣(名古屋)

iii) 研修開発委員会 … 研修の開発・実施

回	日程	会場
ステップアップ 研修協力団体 打ち合わせ	10月5日(火)	JVCA事務所

iv)JVCC企画委員会…全国ボランティアコーディネーター研究集会2010・2011の企画、今後のあり方検討

回	日程	会場
緊急打ち合わせ	7月4日(日)	京都キャンパスプラザ
次回の共催先調整	12月7日(火)	立教大学

v)財政委員会…中期的な財政シミュレーションと具体的な財源強化対策

回	日程	会場
第1回	7月17日(土)	マホロバ・マインズ三浦
第2回	11月21日(日)	COMBi 本陣(名古屋)

### ③専門委員会の設置、運営

i)検定・認定システム化検討委員会(継続) ⇒前掲

### ④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図った。

i)研修実施プロジェクトチーム

ii)ホームページメンテナンス・タスクチーム

iii)ボランティアコーディネーター倫理綱領作成チーム

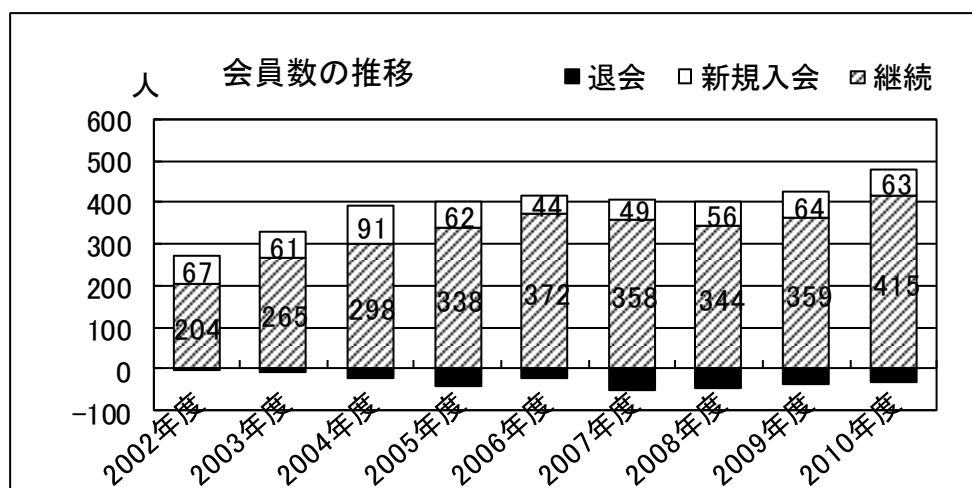
iv)中期ビジョン2011-2013策定チーム

v)JVCA創立10周年記念事業検討・準備チーム

## (4) 会員拡大および会員サービスの充実

### ①会員拡大に関する取り組み

・ボランティアコーディネーション力3級・2級検定合格者に対し、JVCC開催と入会の案内を行った。



②会員サービスの見直しとサービスの拡充

- ・コアアカデミーの開催条件を再検討した。
- ・『CoCoサロンガイドブック』を更新し、JVCC2010(福岡)でのランチミーティングを開催した。

③会員継続支援サービスの充実

- ・会員にニーズに応じたJVCAへの参加や活用方法を知ってもらうために、『会員旨みツール「JVCAを10倍楽しむ方法～あなたの満腹タイプ診断」』を作成し、全会員に配布した。また会員メーリングリストを活用して、満腹タイプ診断の活用PRを行った。

(5) 事務局運営の充実

①事務局スタッフの強化

4月1日付で非常勤職員を常勤化した。

②事務局担当理事を置き(坂口和隆理事が継続)、事務局運営と職員の雇用管理についてのスーパーバイスを行った。

③事務所スペースの拡大の検討 ⇒移転先物件の情報収集を開始した。

(6) 財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員特典(JVCC・研修・セミナー参加費割引など)を積極的に周知し会員の勧誘と継続の働きかけを行った。検定合格者への入会案内を行った。

②事業収益の拡大

検定受験者を安定的に確保するため広報を行った。

③その他財源の拡大(助成金、委託事業など)

認定NPO法人の判定要件が緩和される動きを受けて、年末に緊急に寄付者を募るプロジェクトを開始し、3,000円以上の寄付募集のキャンペーンを実施した。

・寄付プロジェクト実績 : 109件 419,360円 (P23:寄付者名簿参照)